

● 神田界限ぶらり歴史&グルメ散歩 ●

日時:2018年3月8日(木) 天候:雨 7500歩 約5Km

集合:JR神田駅南口(日本橋口) 10時

コース:神田駅→神田八丁堀跡→伝馬町牢屋敷跡→お玉ヶ池跡→玄武館跡地→肉の万世(ランチ)→旧万世橋駅遺構跡
→淡路町老舗探索→神保町古書店街→愛全公園(周恩来碑)→九段下駅(解散)

参加者:小島(L) 佐藤繁 山川 丹後 桑原 桑名 中林 山田 赤須 仁井 高橋友 脇坂 計12名

俗に春先の不安定な気候を「三寒四温」といいますが、この日はまさに「三寒」でも“特寒日”に当たってしまい、朝から雨模様で気温も上がり冬に逆戻りとなりました。普段はあまり馴染みのない神田駅だとは思いますが、遅れの出た路線経由の方も含め定刻には全員集合！傘を差しながらのスタートとなりました。あまり速足で歩くと、ランチの予約時間に早すぎてしまうので散歩速度で・・・(これは内緒！) 今川橋跡を見てから、その先の小公園で各自傘を差しながら足だけのストレッチ！神田にもあった八丁堀跡で江戸の半分が焼けた「振袖火事」について学ぶ。「安政の大獄」の舞台でもある伝馬町牢屋敷跡では、漸刑に処された吉田松陰を偲びました。その先一帯には、かつて桜ヶ池といわれた花見の名所があり、今の不忍池ほどの広さがあったそうですが、訳ありで「お玉ヶ池」と呼ばれるようになりました。北辰一刀流と言えば千葉周作の玄武館道場、その跡地にあった千桜小学校も無くなり高層マンションに。今は玄武館碑も撤去され完成後に再設置されるそうです。お待ちかねのランチは「肉の万世」の個室でゆったりと。ここは昭和24年の創業当初より黒毛和牛を素材とした、ステーキ&ハンバーグの専門店で、私も現役時代にはよく食べに来たものでした。参加者の中にも懐かしい味に、若かれし頃を思い出した人もいたようです。食事の後、旧万世橋駅跡や淡路町の歴史的建造物群は足早に通り過ぎ、「竹むら」の揚げ饅頭もスルー！靖国通りを神保町に向かいました。交差点近くの愛全公園で周恩来碑を確認し、そのまま九段下駅に飛び込みましたが、天候を考えて予定より若干距離を縮めました。天気が良ければ皇居東御苑を通り東京駅までのOPも考えていましたが、あいにくこの天候では歩く気も削がれ、そのまま九段下駅改札前で解散としました。 <フトレポート 小島>



朝の神田駅南口(日本橋方面出口)にて。すでに霧雨が降り出して先が思いやられる！



まずは今川橋跡を訪ねます。竜閑川とも呼ばれた堀で江戸時代は日本橋を出て最初に渡る橋でした。



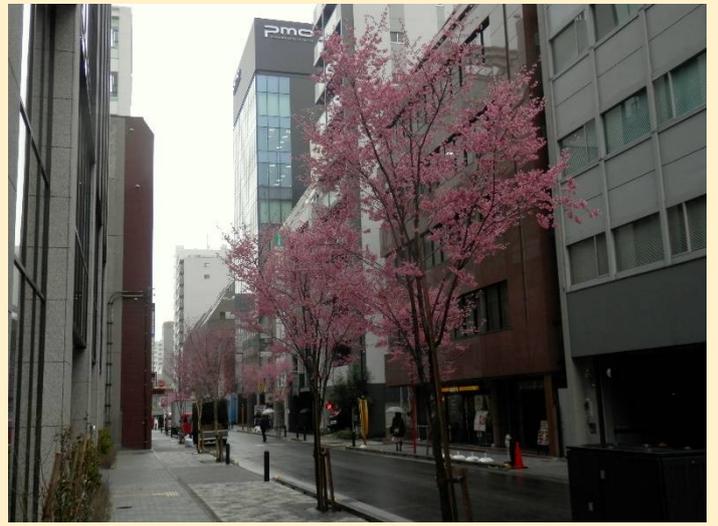
今川橋由来の碑。擦れて良く読めない。



大通りを挟んで川筋跡が。橋は左右に。



本銀（ほんしろがね）通りを傘を差しながら散策。



通りには「オカメザクラ」が満開を迎えていました。



昭和通りの歩道橋。これもストレッチになるかも？



神田八丁堀跡。今は面影も無い公園になっています！



※神田八丁堀: 明暦3年に10万人の死者を出した江戸大火(いわゆる振袖火事)の惨状をきっかけに防火のための堀が築かれた。この長さがちょうど八丁(約870m)あったので八丁堀と言われた。なおこの火事の火元とされた本郷の本妙寺は、本来ならば厳罰に処せられるはずだが、何故か御咎めなしで済んだ。それどころか、隣にあった老中阿部忠秋邸の阿部家からは、実に関東大震災まで供養代として毎年寄付が行われていた。これは本来の火元は阿部邸で、江戸の動揺を防ぎ、幕府の威信を守るため、本妙寺に事情を説明して、火元の汚名をかぶってもらったのではないとも言われている。(幕府も悪よのう！)



十思公園に着きました。ここは江戸時代に伝馬町牢屋敷があった所。地下から出て来た牢屋敷の石垣。



<十思公園内にある「石町時の鐘」下で全員集合。雨を避け軒下にこじんまりと固まってしまいました！>
 ※伝馬町牢屋敷と吉田松陰：大老・井伊直弼による安政の大獄が始まると、この牢屋敷に送られた松陰は尋問に際し、老中暗殺計画を自供、これが井伊の逆鱗に触れ、安政6年に斬刑に処された。享年30歳(満29歳)だった。処刑後、小塚原の回向院の墓地に葬られたが、文久3年に高杉晋作らにより現在の世田谷区若林に改葬された。(これが今の松陰神社)
 この牢屋敷は今でいう拘置所のようなもので、当時は現在の懲役や禁固に該当する処罰が存在しなかった。明治8年に市ヶ谷監獄が設置されるまで使用され、周囲には土手・塀を設け、表門・不浄門が設けられていた。



園内には吉田松陰の碑も。



これが辞世の句碑ですが・・・文字が薄く読めません。



牢屋敷の隣には大安楽寺が。



ここは処刑場跡。



結構派手な色使いの寺でした。



屋敷を出て昭和通りを行くとお玉ヶ池種痘所跡が。



伊東玄朴の種痘所跡で東大医学部の前身でもある。



お玉ヶ池跡に建つ「お玉稲荷」(誰もお賽銭入れず！)



池跡の碑も今はビルの谷間にひっそりと佇む。

※お玉ヶ池伝説:江戸時代の初頭、神田のこの辺りには大池の「桜ヶ池」という花見の名所があった。この畔には茶屋が建っていてお玉という看板娘がいたが、その娘は二人の男に求愛され悩んだあげく池に身を投げてしまった。それ以降、この池は「お玉ヶ池」と呼ばれるようになった。幕末の頃には池は殆ど埋め立てられてなくなっていたらしいが、その地名は残った。この池の周辺には多くの学者や文人、剣士が居を構えた。洋学者・佐久間象山の象山書院、漢詩人・梁川星巖の玉池吟社、蘭方医・伊東玄朴のお玉ヶ池種痘所や千葉周作の玄武館道場等、神田という土地には、文武の修行の空気が昔から満ちていたといえる。玄武館出身の門弟には、千葉定吉(周作の弟)、清河八郎、山岡鉄舟、藤堂平助、山南敬助らがいる。

<江戸の三大道場とは> ※時代小説や時代劇にもこれらの名前がよく出てくることがありますね。

- 士学館・・・鏡新明智流:初代 桃井春蔵(今の茅場町に開設、その後現新富町に移転)
- 玄武館・・・北辰一刀流:千葉周作が日本橋品川町に開設。後に神田お玉ヶ池に移転。
- 練兵館・・・神道無念流:齊藤弥九郎が九段坂下に開設。その後九段坂上(現靖国神社境内)に移転。



そろそろお腹空いたね！私もよ～。ハイ了解です！



ここがランチ場所の「肉の万世」本店。本日は4Fで。



4Fの個室を予約しておきました。あまり寒いので飲む人は一杯だけとし乾杯！



こちらは飲まない組？（飲む人が一人いた！）



ここは当然飲める組！（でも一杯だけですよ！）



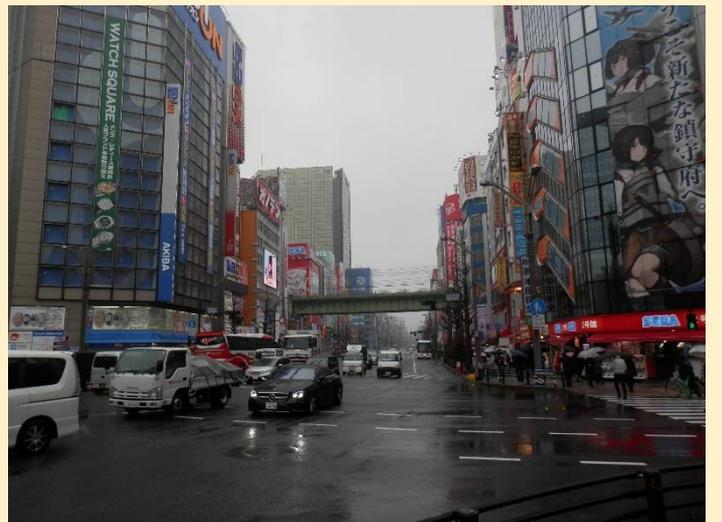
万世と言えばハンバーグ。目玉焼きはサービス！



皆さん食べている時は「無我」の境地に・・・



外に出ると予報通り雨脚が強くなってきました。



“オタク”の聖地、アキバを望むも人通りは少なく。



旧万世橋駅。昔の中央線はここが終点。今は駅舎跡に洒落た店が並んでいます。(↑下見時撮影↓)



鉄道博物館跡は高層ビル（ステーションコンファレンス万世橋）に生まれ変わっていました。↑地下に駅の遺構が。



歴史的建造物エリア。↑あんこう鍋の「いせ源」



↑鳥すきの「ぼたん」



↑揚げ饅頭で知られる「竹むら」(今回は入れず)



↑池波正太郎が覇頂にしていた「神田まつや」

※他にも「神田やぶ蕎麦」がありました但建物は火事で焼失。現在は往時の雰囲気を残した新店舗になっています。



神保町の「愛全公園」。周恩来碑がありますが、ここは喫煙場所でサラリーマンのオアシス？





九段下駅に着きホッと一息。ここで解散しました。

※終日雨と寒さで、ゆっくりと史跡を巡るつもりが、つい速足になってしまいました！今回の神田周辺は、江戸時代の中心をなす町人町で、様々な職業の人々が居住していました。所謂「江戸っ子」の原点ですね。この日はその中でもほんのサワリ部分を歩きましたが、ランチ付の散策は弁当いらずで、女性陣には好評のようでした。過去には、チーズオムレツや深川めしのランチ企画もありましたが、偶にはゆったりとした“食事会ウォーク”もいいものですね！

参加された皆さん、悪コンディションのなかお疲れ様でした。

●この日は、傘を差しながら雨・風と格闘！レンズも濡れ気味で、あまり写真が撮れず、下見時の写真も使いました。